

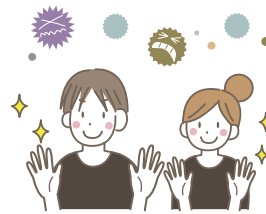
正しい方法で手を洗って感染を予防しましょう



- ①まず手指を流水で濡らす ②適量の石けん液を手のひらに取り出す ③手のひらと手のひらをこすり合わせて洗う ④手の甲をもう片方の手でこすり洗いする ⑤両手の指の間をこすり合わせて洗う



- ⑥親指をもう片方の手で包み、こすり洗いする ⑦指先をもう片方の手のひらでこすり洗いする ⑧手首をこすり洗いする ⑨流水でよくすすぐ



地域の皆さんへ手洗いの啓発活動も行っています

手洗い後に手指の汚れが落ちているかどうか目視で確認し、正しい手洗い方法をお伝えしています

今年も令和7年11月16日に吹田市が主催する健都フェスに当院も参加予定です。健都フェスでは手洗い指導を開催します。手洗いをしていただけ、汚れが落ちているかどうか確認することができますので、ぜひ自身の手洗いを評価しに遊びに来てください。



ダニを媒介とした感染症に注意！

病原体を持ったダニに刺されることで、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」や「日本紅斑熱」「つつが虫病」などの感染症にかかる可能性があります。

4月から10月にかけてマダニの活動が活発になりますので、山や草むらでの野外活動の際は「ダニ」に刺されないよう御注意ください。



ダニに刺されないための対策

- ① 肌の露出を少なくする
長袖、長ズボン、足が覆える靴、首元を覆うタオル、帽子等
- ② 明るい色の服を着る
マダニを目視で確認しやすくするため
- ③ 虫よけ剤を正しく使う

ダニに刺されたときの対処法

- ① 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置をしてもらいましょう。
- ② マダニに刺された後、数週間体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関を受診してください。

当院におけるがん診療について

当院は、がん医療水準の向上及び安心かつ適切ながん医療が選択できることを目的として大阪府が指定する「大阪府がん診療拠点病院」に認定されています。

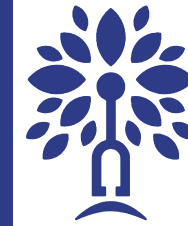
がんについて、当院ホームページにて解説をしていますので、記載のQRコードから御確認ください。

当院ホームページ
「覚えておきたい「がん」のこと」➡



平素より吹田市民病院だよりを御愛読いただきありがとうございます。
御意見がございましたら市立吹田市民病院まで御連絡ください。

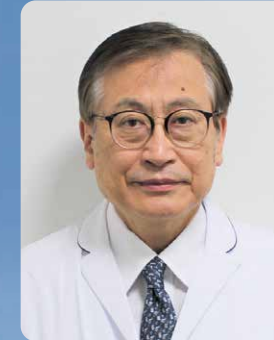
●編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

吹田市民病院
だより
No.93

〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL (06)6387-3311
FAX (06)6380-5825
メール shomu@mhp.suita.osaka.jp
ホームページ
https://www.suitamhp.osaka.jp



理事長のごあいさつ



市立吹田市民病院 理事長

きたがわ かずお
北川 一夫

令和6年4月から当院の理事長を拝命しております。当院は市民病院として地域医療の中核病院としての業務を行い、本年も“市民とともに心ある医療を”の理念に基づき皆様のお役に立てるように職員一丸となってまい進してまいりたいと考えております。

診療に当たっては、第一に専門能力の高い医師、看護師、医療技術職、事務職員を多く集め、市民の皆様へ質の高い医療を提供することを心掛けています。市民の皆様が安心して受診できる、医療内容に満足していただける、そういった病院を目指しています。

平成30年に現在の場所に移転し、新しい病院としてスタートしましたが、駅から近くなったこと、病院がとても綺麗になったこと、国立循環器病研究センターと隣接し、診療連携がしやすくなったこと等、良い面が多くあります。当院では吹田市内を中心にクリニックの先生との連携を密に行っていますので、普段の診療ではかかりつけの先生へ御通院いただくことをお勧めしています。

当院の診療の重点領域は、救急医療、周産期医療、小児医療、がん診療（特に消化器疾患、血液疾患、呼吸器疾患、泌尿器疾患、乳腺疾患等）、難病診療等に渡っています。また昨年度整形外科では人工関節手術支援ロボットを新たに導入し、膝、股関節疾患、脊椎疾患の手術に積極的に取り組んでいます。さらに健康維持のための予防医学についても人間ドック、脳ドックを実施し、取り組んでいます。昨年度、当院は日本脳ドック学会から施設認定を受け、質の高い健診機関として認可されています。私も病院ホームページ「理事長コラム」で“65歳から脳を守ろう”を連載し、読まれた方の健康寿命を延ばすことに取り組んでいます。

ニュースでもしばしば取り上げられていますが、病院経営は、公立、私立を問わず今非常に厳しい状況に置かれています。当院では患者さんに、質の高い、安心していただける医療の提供を第一に考え、効率的な無駄のない運営と病院経営の改善にも努めていきたいと思ひます。

本年度も皆様から暖かい御支援をいただけますようによりよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介



にし かわ かず ひろ
西川 和宏
診療科 外科 (主任部長)
専門 上部消化器
コメント 4月から赴任しました。「市民とともに心ある医療を」という理念を実現できるようがんばります。



はま だ ゆう すけ
濱田 悠介
診療科 小児科 (医長)
専門 先天代謝異常症、療育
コメント 4月から赴任しました。小児科全般及び専門的な医療まで幅広く診療させていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。



ひら い ゆき お
平井 幸雄
診療科 整形外科 (医長)
専門 手外科
コメント 4月から赴任しました。地域の患者さんのお役に立てるよう微力を尽くします。よろしくお願いいたします。



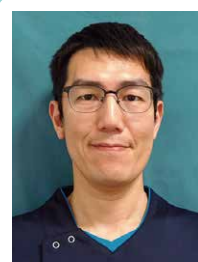
なか た けい いち
中田 継一
診療科 血液内科 (医員)
専門 血液内科
コメント 4月に赴任いたしました。よろしくお願いいたします。



た なべ ま お
田邊 真央
診療科 消化器内科 (医員)
専門 内科
コメント 4月から赴任しました。地域の皆さんの健康維持に少しでも貢献できるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



まつ やま ゆう すけ
松山 祐介
診療科 整形外科 (医員)
専門 整形外科
コメント よろしくお祈いします。



たけ だ かず や
武田 和也
診療科 耳鼻咽喉科 (部長)
専門 鼻副鼻腔疾患、アレルギー
コメント 4月から赴任いたしました。患者さんに寄り添い、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



たに ぐち よし き
谷口 嘉毅
診療科 外科 (医長)
専門 上部消化器、腹腔鏡手術、緩和医療
コメント 4月から赴任しました。皆さまのお役に立てるように一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。



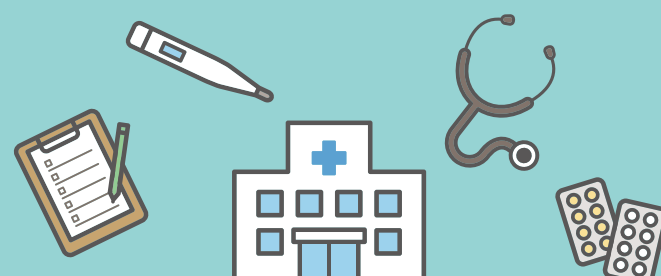
やぶ もと たい き
藪本 大紀
診療科 脳神経内科 (医長)
専門 神経変性疾患
コメント 4月から赴任しました。以前にも一度御世話になっておりました。再び皆様のお役に立てようがんばります。



やす なが もと き
安永 元樹
診療科 循環器内科 (医員)
専門 虚血性心疾患、末梢動脈疾患
コメント 1日でも早く病院等に慣れて早く戦力になれるようにがんばります。よろしくお願いいたします。



すぎ うら かえで
杉浦 楓
診療科 眼科 (医員)
専門 眼科
コメント 不慣れな点が多々あるかと思いますが、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。



感染制御室の紹介

入院されている方、外来診察や検査、面会等で病院を訪れる方、病院で働く職員等病院を訪れる方々を感染から守るため『感染制御室』という部門があります。感染制御室には前田副院長を室長に**感染管理認定看護師***が2名在籍し、多職種（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師）で構成された感染制御を専門とするチーム（感染制御チーム：ICT）とともに、院内の感染制御に取り組んでいます

※ **感染管理認定看護師** (ICN : Infection Control Nurse)
感染管理分野のスペシャリスト。高度化した専門分野が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師。認定看護師教育課程を受け、認定審査に合格し、5年ごとに更新審査を受けています。



感染管理活動の内容

院内での活動

- ① 医療関連感染の発生状況を把握し、院内の感染対策を評価
- ② 感染防止のためのマニュアルの整備
- ③ 安全な療養環境の整備
水質や空調等院内の設備を点検しています。
- ④ 病院内巡視
各部署の点検を行い、院内感染の観点から問題点の把握や改善指導を行っています。
- ④ 抗菌薬適正使用の推進
多職種で構成されたAST（抗菌薬適正使用チーム）で抗菌薬の使用状況を評価しています。
- ⑤ 職員や患者さん等への感染対策に関する啓発活動
病院職員への研修実績…令和6年度は16回実施しました。
- ⑥ 病院職員の職業感染対策
健康診断、ワクチン接種推進等を行っています。



大阪大学医学部附属病院から感染症専門医を招いてカンファレンスを行い、感染症診療の助言を各科に行っています（毎週）



臨床セミナー

院外での活動

地域全体の包括的な感染対策を推進するために、行政・保健所・医療機関・高齢者施設等と連携し、情報共有やサポート、教育等を行っています。また、医師会や地域の医療機関等と連携し新興感染症等を想定した訓練を年1回行っています。